

みずほCustomer Desk Report 2025/05/16号(As of 2025/05/15)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	146.37
TKY 9:00AM	146.65	1.1181	163.94	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	146.75	1.1229	163.94	1.3264	0.6428
SYD-NY Low	145.42	1.1170	162.77	1.3319	0.6457
NY 5:00 PM	145.68	1.1185	162.87	1.3262	0.6391
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,322.75	271.69	日本2年債	0.7100%	0.0100%
NASDAQ	19,112.32	▲ 34.49	日本10年債	1.4800%	0.0300%
S&P	5,916.93	24.35	米国2年債	3.9535%	▲0.1047%
日経平均	37,755.51	▲ 372.62	米国5年債	4.0476%	▲0.1237%
TOPIX	2,738.96	▲ 24.33	米国10年債	4.4305%	▲0.1108%
シゴ日経先物	37,810.00	45.00	独10年債	2.6250%	▲0.0670%
ロンドンFT	8,633.75	48.74	英10年債	4.6560%	▲0.0560%
DAX	23,695.59	168.58	豪10年債	4.5400%	0.0520%
ハンセン指数	23,453.16	▲ 187.49	USDJPY 1M Vol	11.11%	0.58%
上海総合	3,380.82	▲ 23.13	USDJPY 3M Vol	10.85%	0.22%
NY金	3,226.60	49.35	USDJPY 6M Vol	10.50%	0.10%
WTI	61.62	▲ 1.53	USDJPY 1M 25RR	▲2.36%	Yen Call Over
CRB指数	295.86	▲ 2.55	EURJPY 3M Vol	9.12%	0.19%
ドルインデックス	100.88	▲ 0.16	EURJPY 6M Vol	9.38%	0.14%

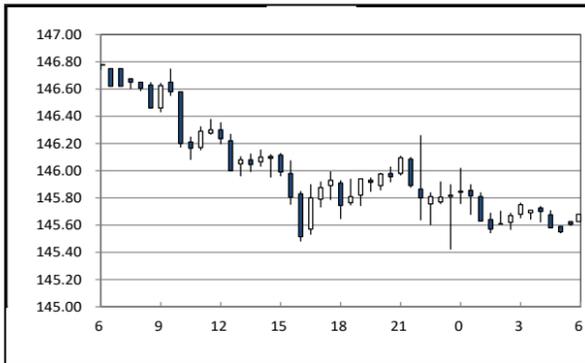
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月15日	15:00	英 GDP(前期比/前年比)・速報	1Q P 0.7%/1.3%	0.6%/1.2%
	15:00	英 個人消費(前期比)・速報	1Q P 0.2%	0.5%
	18:00	欧 GDP(前年比/前期比)	1Q S 1.2%/0.3%	1.2%/0.4%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	5月 -9.2	-8
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	4月 0.1%	0.0%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	4月 0.1%	0.3%
	21:30	米 小売売上高(コントロールグループ/前月比)	4月 -0.2%	0.3%
	21:30	米 PPI(前年比/前月比)	4月 2.4%/-0.5%	2.5%/0.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	10-May 229k	228k
	21:40	米 パウエルFRB議長 講演	-	「政策決定枠組みの変更示唆」

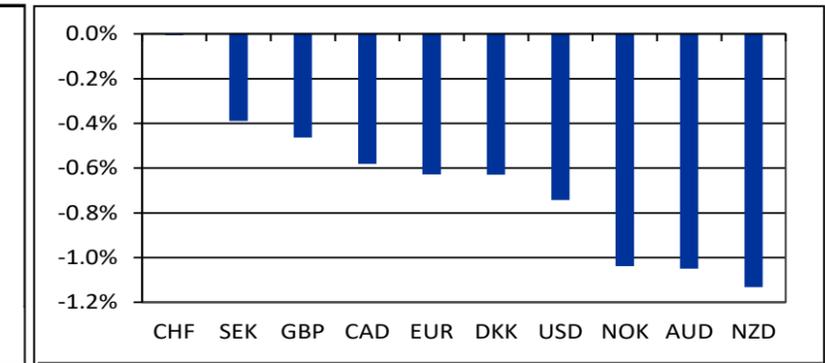
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月16日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・速報	1Q -0.1%	0.6%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	1Q -0.3%	2.2%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	1Q 3.2%	2.9%
	21:30	米 住宅着工件数	4月 1364k	1324k
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	5月 53.5	52.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	144.50-146.30	1.1100-1.1300	161.80-163.80

【マーケット・インプレッション】

本日のドル円はレンジ内での推移を予想する。昨日は複数の米経済指標が発表、総じてみるとやや弱めの結果となるも、反応は限定的だった。引き続き、関税政策を巡る報道が相場を動かす材料となっている。来週に日米財務相会談での為替協議を行うことへの警戒感は継続しており、ドル円の上値を抑えるだろう。一方で、株価は上昇していることを踏まえると、リスクセンチメントが大きく落ち込んでいる訳ではないため、下げ幅は限定的と考える。

東京	東京時間のドル円は146.65レベルでスタート。朝から仲値に向けて大きな売りが入ったと見られ、146円手前まで下落。米韓為替協議との報道に端を発したドル売りの流れが継続し、結局146円を割り込み、結局146.13レベルでロンドンへ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、146.13レベルでオープン。米関税政策に関する新たな報道待ちか、特段の材料がない中で方向感なく推移し、結局146.09レベルでNYに渡った。欧州株は立ち上がり全体的な売りとなるもセッションを通して回復し堅調に推移した。
ニューヨーク	米国時間のドル円は146.09レベルでオープン。朝方に発表された米4月小売売上高(コントロールグループ)や、米4月PPIが予想を下回った事が嫌気され、その後はドル売りが優勢となり、145.42まで下落する軟調な推移。午後は米金利が低水準で推移する展開が重しとなり、145.70付近を中心とした上値重い推移が続き、145.68レベルでクローズ。一方、ユーロは先述の低調な米経済指標の結果を受けたドル売りを支えに、1.1223まで上昇する。しかし、その後は独長期金利が低下する動きを受け伸び悩み、1.1180付近まで反落。午後は1.1170付近で動意乏しい推移が続き、1.1185レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。